

作り方

- 1 道具……切れるカッターナイフ・マット・カッティング定規・ホチキス。
- 2 PDFファイルを両面印刷する。ページサイズ処理は「実際のサイズ」がよい。
- 3 1枚目（第1面・第2面）の表裏がずれていないか、縦横とも「←両面印刷位置合わせライン→」のずれで確認する。
- 4 ずれていた場合、プリンターの設定の「印刷位置合わせ」等の機能でずれがないように調整する。
- 5 2枚目は1枚目と同じ。
- 6 1枚目を丸数字①②③④の順にラインに沿って「きれいに」「しっかりと」折り込む。
- 7 2枚目を①のラインで切り落とす。
- 8 ②③の順にラインに沿って「きれいに」「しっかりと」折り込む。
- 9 折り込んだ1枚目の「△第3面合わせ」と、2枚目の「△第1面合わせ」を向い合せに重ねる。
- 10 表紙の「ホチキス」ラインでホチキス止めする。ホチキスの裏は勤行本を傷めないようによくつぶす。
- 11 表紙の「裁断」ラインで3方向を「きれいに」切り落とす。裁断③をきれいに切れば使いやすくなる。

↓ 切端 ①

← 両面印刷位置合わせライン →

↑ 切端 ①

↑ 両面印刷位置合わせライン ↓
② 山折

③ 山折り

△ 第1面合わせ

③ 谷折り

如来の回向に帰入して	502	277A	150A	236A	553
如来の光瑞希有にして	483	165B	94A	128B	330
如来の興世にあいがたく	484	173B	98A	136B	346
如来の作願をたずぬれば	503	285A	154A	244A	569
如来の諸智を疑惑して	506	301B	162A	260A	602
ねん 念仏往生の願により	502	279B	151A	238B	558
念仏成仏これ真宗	485	175A	96A	138A	349
念仏のひとを撰取して	489	201A	112A	163B	401
念仏誹謗の有情は	504	287A	155A		573
ひやく 百千俱胝の劫をへて	486	185B	104A	148A	370
びょう 平等心をうるときを	487	187A	105A	149B	373
びん 頻婆娑羅王勸せしめ	485	177A	100A	139B	353
ふ 不思議の仏智を信ずるを	504	290A	159B	248B	579
不如実修行といえること	493	227A	125A	189B	453
不退のくらしすみやかに	490	205A	141A	168B	409
聖典 上 寸珍 勤行 声明					

み 弥陀観音大勢至	505	292B	157B	251A	584
弥陀観音方便して	485	179A	101A	141B	357
弥陀初会の聖衆は	480	147A	85A	110B	293
弥陀成仏のこのかたは(へたまえ	479	140B	81B	104A	280
弥陀成仏のこのかたは(ときたれ	483	167A	95A	130A	333
弥陀大悲の雲願を	505	293A	158A	252A	585
弥陀智願の回向の	502	278B	150B	237B	556
弥陀智願の広海に	503	286A	154B	245A	571
弥陀の回向成就して	492	220A	121B	182B	439
弥陀の浄土に帰しぬれば	482	163A	93A	126B	325
弥陀の尊号となえつつ	503	281A	152A	240A	561
弥陀の大悲ふかければ	484	169B	96A	132B	338
弥陀の智願海水に	502	277B	150A	236B	554
弥陀の親土をねがうべし	498	252B	137B	214A	504
弥陀の本願信すべし	500	266A	144B	266B	531
聖典 上 寸珍 勤行 声明					

(ほん) 本願相應せざるゆえ	496	244B	133B	206B	488
本師道輝神師は	494	231A	127A	193A	461
本師道輝大師は	494	231B	127A	193B	462
本師聖覺和尚は	491	213B	118A	176A	426
本師聖覺大師をば	494	230A	126B	192B	459
本願力にあいぬれば	490	209A	116A	172A	417
本師龍樹菩薩の(おしえを	490	204B	113B	168A	408
本師龍樹菩薩は(智度十住	489	202B	112B	166A	404
本師龍樹菩薩は(大乘無上	489	203B	113A	167A	406
煩惱具足と信知して	496	240B	131B	202B	480
煩惱にまなこさえられて	497	252A	137B	213B	503
未法五濁の有情の	500	267B	145A	226B	534
未法五濁の衆生は	494	232A	127B	194A	463
未法第五の五百年	501	271B	147A	230B	542
まん 万行諸善の小路より	494	229B	126A	192A	458
聖典 上 寸珍 勤行 声明					

↓ 切端 ①

↑ 切端 ①

← 両面印刷位置合わせライン →

↑ 両面印刷位置合わせライン ↓ 谷折り ②

	聖典	上	寸珍	勤行	声明
(み) 弥陀の本願信ぜねば	506	304A	163B	262B	607
弥陀の名願によらざれば	495	236A	129B	198A	471
弥陀の名号となえつつ	478	139A	81A	146B	277
みよう 妙土広大超数限	481	157A	90A	120B	313
命終その期ちかづきて	499	260B	141B	221B	520
命濁中天刹那にて	501	271A	147A	230A	541
名号不思議の海水は	493	223B	123A	186A	446
む 無碍光如来の名号と	493	226B	124B	189A	452
無碍光の利益より	493	222B	122B	185A	444
無碍光仏のひかりには(清浄歓喜	484	168A	86B	131A	335
無碍光仏のひかりには(無数の阿	488	196A	109B	159A	391
無碍光仏のみことには	503	282A	152B	241A	563
無上上は真解脱	487	186B	104B	149A	372
無明長夜の燈炬なり	503	284A	153B	243A	567
無明闇を破するゆえ	474	144B	83B	108A	288

	聖典	上	寸珍	勤行	声明
われもと因地にありしとき	489	200B	111B	163A	400
わ 和国の教主聖徳皇	508	312B	167B	271A	624
らん 龍王の一心とけるをば	492	221B	122A	184A	442
ろく 六十有七きいたり	492	217B	120A	180A	434
りん 臨終現前の願により	484	170B	96B	133B	340
りまう 靈山睡衆とおわしける	497	249B	136A	211A	498
りゆう 龍樹大士世にいて	489	204A	113B	167B	407
り 利他の信楽うるひとば	496	243B	133A	205B	486
罵師のおしえをうけつたえ	494	232B	127B	194B	464
らん 罵師こたえつたまわく	491	215A	119A	177B	429
ま 世に善導いたまい	495	235B	129A	197B	470
無始流転の苦をすてて	504	290B	156B	249A	580
無始よりこのかたこの世まで	507	310A	166B	268A	619
無明煩惱しげくして	501	270A	146B	229A	539
無明の大夜をあわれみて	486	184B	103B	147A	368

	聖典	上	寸珍	勤行	声明
ぶつ 仏号むねと修すれども	495	237B	130A	199B	474
へん 辺地七宝の宮殿に	506	303A	163A	261B	605
ぼ 菩提をうまじきひとはみな	501	273A	148A	232A	545
ほう 報の浄土の往生は	497	251A	137A	212B	501
報土の信者はおおからず	504	291A	157A	249B	581
宝林宝樹微妙音	482	158B	80B	122A	316
ほん 本願門頼一乗は	492	219A	121A	181B	437
本願毀滅のともがらは	497	246A	134B	208A	491
本願疑惑の行者には	506	301A	162A	257B	601
本師源信和尚は	497	250A	136B	211B	499
本師源信ねんごろに	497	249A	136A	210B	497
本師源空のおわりには	496	262B	142B	223B	524
本師源空の本地をば	498	257B	140A	218B	514
本師源空命終時	499	263B	143A	224B	526
本師源空世にいて	498	254A	138B	215A	507

	聖典	上	寸珍	勤行	声明
仏智を疑惑すゆゆえに	506	302A	162B	260B	603
仏法力の不思議には	495	239B	131A	201B	478
仏智不思議を信すれば	504	289B	156A	248A	578
仏智不思議をうたがいて(罪福心す	507	306A	164B	264B	611
仏智不思議をうたがいて(善本徳本	506	300B	161B	259A	600
仏智不思議の誓願を	507	309A	166A	267A	617
仏智の不思議を疑惑して	507	307A	165A	265B	613
仏智の不思議をうたがいて	505	297A	160A	255B	593
仏光照曜第一	479	143A	83A	106B	285
仏光測量なきゆえに	480	145B	84A	109A	290
仏量功徳をほめしめて	483	164A	93B	127B	327
仏智疑惑のこみかえに	507	305B	164A	264A	610
仏智疑惑のこみにより	505	298A	160B	256B	595
ぶつ 仏智うたがうこみかかし	507	307B	165A	266A	614
(ぶ) 不了仏智のしるしには	505	296B	159B	255A	592